

埜町真名畑区



東北大学 地域密着Lab

地域づくりオープンカフェ

2016/2/7

本日の発表内容

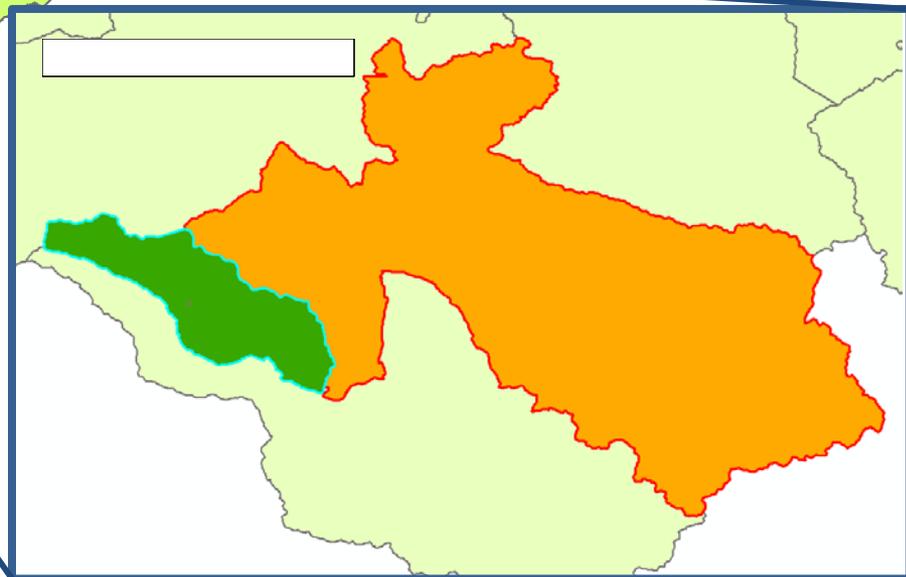
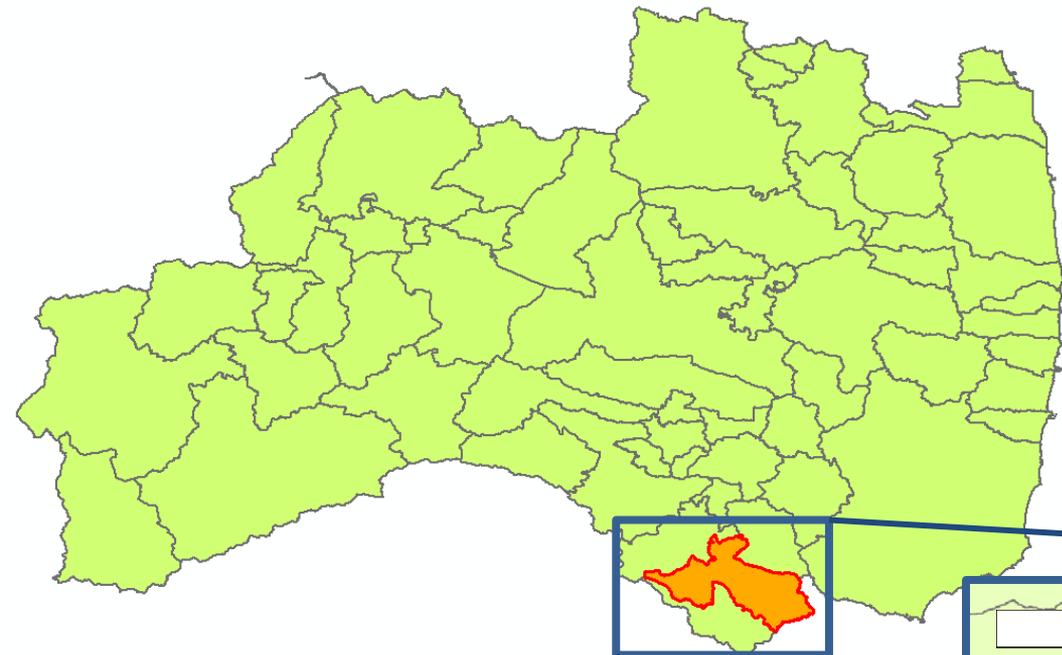
- ①昨年度の活動状況など
- ②今年度活動内容の紹介
 - 4つの活動を実施しました
- ③活動のまとめ(結論 & 課題)



埴町真名畑区概況

【真名畑区】

埴町の西側に位置しており、福島県と茨城県の県境にある八溝山系の麓に位置する集落



昨年度の活動状況

①既存統計・アンケート・ヒアリング調査

- 集落戸数・人口の減少
- 耕作放棄・獣害
- 集落外での就業
- ゲートボールや体操への積極的参加、健康志向
- 若者増加・後継者定住の希望等々

昨年度の活動状況

②地域の魅力発見



自然・歴史・文化・生活...



昨年度の活動状況

③活性化策の検討

- 食の発信
- 外部誘致
- 景観整備



今年度の活動

日時	活動内容
3月12・13日	地区の方との意見交換会
5月9・10日	田植え・民泊体験
9月26・27日	稲刈り・畑の視察
12月5・6日	収穫祭(東北大・地理学教室3年生参加)

意見交換会(2015.3)

- ・交流人口の増加
- ・イベントの開催
- ・まずは知人のつて
- ・収穫祭
- ・真名畑には利益追求は似合わない



- ・直接消費者とつなげる(ブランド)
- ・体験活動
- ・都会の人に作業してもらって管理は地域で
- ・イノシシや放射能

- ・川の綺麗な水
- ・ソーシャルメディアの活用
- ・キャンプ場
- ・田んぼオーナー制
- ・米が美味しい

- ・今あるものを使う
- ・産業がほしい
- ・災害がない
- ・ソバをつくるのはどうか

- ・食マップ
- ・カフェ
- ・60代以上が頑張る
- ・独居老人の問題
- ・農業人口を活かす
- ・空き家が多い

「60%の全力 120%の楽しみ」を提案

今年度の活動

①民泊

- 各家庭の落ち着いた雰囲気でお話ことができました
 - 生活様式の違いを体感(敷地が広い！川の音が聞こえる！など)
 - 学生と集落の人の親睦も深まる！
 - それぞれの深い思いを共有できる！
- ただ泊まるだけではいけない...？
 - 何かのお返しを...(某TV番組のように)

地域の方々の知識の深さに驚き！

様々な家庭の味！



今年度の活動

②米作り

- 今年の大きな目玉
「米をつくろう！」
- 集落の方の多大な協力をいただきながら...
 - 田植 & 稲刈り(途中管理には地域の方々に大変お世話になりました)
 - 稲作経験者が皆無の中、田植えと稲刈りだけでしたが、とても勉強になりました
 - 草とりなどでも訪問できればよかったかもしれない

③ソバ、大豆(枝豆)も畑をお借りして育てていただきました



田植え



作業中
手で植えて
いきます

終了！



「おらほの田んぼ」



看板も作成！
もちろん手作り
地区の方々の
技術をお借りし
ました



制作を思い立ったらすぐに製材！



達筆です！



我々も少々字を入れました

稲刈り



立派に育ちました
皆で刈っていきます
前日の雨の影響で足元が
ぬかるみます

稲刈り

刈った稲を
束ねてかけ
ていきます



完了！
「米作りって
思った以上に
大変だ！」





そばや大豆
の方も立派
に成長

夜は料理を囲
みながら交流
を深めました



今年度の活動

④収穫祭

－ソバ打ち

－朝ごはんも真名畑産白米です

- 自分たちが関わったものを食すとよりおいしく！

－初訪問者も含めて親睦を深め、改めて外部者の目線で地域をみるゲートボールで交流

- これまで関与が少なかった方々との交流
- 活性化には多様な層の協力が不可欠

ソバ打ち



先生のご指導を受けて何とか完成です



収穫したソバを使ってチャレンジ



ゲートボール

人生の大先輩
はとても元気！



意外と難しい...

真名畑で盛んなゲートボールに学生も参加！
これまで関わることの少なかった方々とも交流

意見交換会と昨年度の提案から

- ・交流人口の増加
- ・イベントの開催
- ・まずは知人のつて
- ・収穫祭
- ・真名畑には利益追求は似合わない



- ・直接消費者とつなげる(ブランド)
- ・体験活動
- ・都会の人に作業してもらって管理は地域で
- ・イノシシや放射能

- ・川の綺麗な水
- ・ソーシャルメディアの活用
- ・キャンプ場
- ・田んぼオーナー制
- ・米が美味しい

- ・今あるものを使う
- ・産業がほしい
- ・災害がない
- ・ソバをつくるのはどうか

- ・食マップ
- ・カフェ
- ・60代以上が頑張る
- ・独居老人の問題
- ・農業人口を活かす
- ・空き家が多い

食の発信、外部誘致、景観整備

まとめ(活動の振り返り)

今年度活動の反省

- 今年度は実証実験という形で農作業&収穫祭を中心に活動
- 様々な点で地区の方とより親密に、交流人口増加
- 貴重な経験の数々
(農作業・地区の人との交流・新たな気づき)は外部者誘致に有効か
- 意見交換会での一部項目の実施が実現
- 少しお任せし過ぎてしまった部分も？



まとめ(活動の振り返り)

全体的な振り返り

- 我々の活動に対して真名畑の方々に多大なサポートをいただいた
- →真名畑はホストとして十二分の力を発揮できる地区
→住民負担と活性化との天秤？
- 「60%の全力 120%の楽しみ」
- →評価が未了、
受け入れ側との議論の必要性



まとめ(活動の振り返り)



今後に向けて

- 活動可能な範囲で継続していくことでリピーターも増やせる
- →実活動1年目で手探りの段階なので要検討
- 他の内容にもチャレンジできるのならば、受け入れ・参加双方に一層新たな気づきも生まれ、活性化のヒントもでてくるのでは？
- 受け入れの限界もあるので、ひとまず知り合いの口コミなどから人集めを継続させていくほうが賢明か
- 我々の活動をきっかけにより元気な真名畑になってほしい

まとめ(課題)

受け入れ側と参加側の視点でみる必要性

- もちろん学生側として意見を考えるのは必要
- 集落の方の意見(準備等での課題など)
- →活性化を考える上で、担い手としてとても重要
- 2年間で感じたことなど全員で共有し、議論する必要
- →地域の実情も踏まえた双方向的関係性の確立

関係者全員で試行錯誤しながら進める

2年間で遠隔地の地域をうかがい知ることは難しい

→事業後も長い付き合い？



ご清聴ありがとうございました

真名畑区の方々、
2年間本当に
お世話になりました！
今後ともよろしく
お願い致します！

